チャタレイ夫人の恋人（1955）

L’AMANT DE LADY CHATTERLEY
LADY CHATTERLEY’S LOVER［米］

メディア 映画
ジャンル ドラマ　文芸　エロティック
製作国 フランス
色彩 B&W
時間 102分
初公開日 1955/12/18
公開情報 ＮＣＣ＝ユニオン

【解説】
　１９８２年のＳ・クリステル主演作が圧倒的に有名だが、Ｄ・Ｈ・ロレンスの原作の映画化はこれが最初。フランスを代表する名女優Ｄ・ダリューの気品さ漂う秀作。
　戦争で下半身不随になったチャタレイ卿は貞淑な妻に後継ぎがほしいと言う。それでなくても夫の身体の事情を察して何人もの男たちに言い寄られてきた妻コニー。夫との愛情と信頼関係は絶対的だと信じてきた彼女にとって、夫の申し出はショッキングなことであった。“そうなっても我々夫婦の絆は絶対”と言っておきながら、やがて妻コニーが森番として雇われた男と噂になっていく事実にチャタレイ卿は混乱する。噂の根元は森番の事実上離婚した妻だったが……。森番男とコニーのやりとりから“愛し合う”ことの尊さが真剣に描かれている。ありがちな不倫の物語、官能的なシーンを主題にした訳ではないところに、原作のロングセラーの所以がうかがえる。本作は特に文学的な要素が大きく、映像は古いけれどモノクロームでしっとりと美しい作品である。

【クレジット】

監督	マルク・アレグレ	Marc Allegret
原作	Ｄ・Ｈ・ロレンス	D.H. Lawrence
脚本	ジョセフ・ケッセル	Joseph Kessel
	マルク・アレグレ	Marc Allegret
撮影	ジョルジュ・ペリナール	Georges Perinal
音楽	ジョセフ・コズマ	Joseph Kosma
出演	レオ・ゲン	Leo Genn
	ダニエル・ダリュー	Danielle Darrieux
	エルノ・クリサ	Erno Crisa
	ベルテ・ティッセン	Berthe Tissen
	ジャニーヌ・クリスパン	Janine Crispin
	ジャン・ミュラー	Jean Murat
	ジェラール・セティ	Gerard Sety

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.